

【エクアドル経済:2015年9月】

1. 第3回世界カカオサミットの開催

8月31日～9月3日、グアヤキルにおいて第3回世界カカオサミットが開催され、オンタネダ・エクアドル・カカオ輸出事業者連盟（ANECACAO）会長は、国内生産強化のために7,000万ドルの公共投資がなされたことを強調し、官民連携が維持されることを期待。アウレスティア貿易大臣は、カカオ及びコーヒー輸出事業者は総額60万米ドルのドロバック（税還付）制度の対象となるとし、右により当国が世界の主要生産国の1つとなったと述べた。

2. 自動車の安全生に関する強制規格：国連欧州経済委員会企画認定制度適用開始期日の延長

10日付官報において、工業・生産性省決議第15255号が掲載され、昨年10月6日付で公示された自動車の安全に関する強制規格（国家規格院（INEN）第034号規格）の2度目の改定が行われた。本年10月となっていた国連欧州委員会（UNECE）規格認証義務化開始時期が本決議の公示により365日延期となり、2016年9月10日までとなった。

3. 国際収支擁護のための一般セーフガード措置対象拡大

18日、貿易委員会（COMEX）決議第36号が官報に掲載されて発効し、本年3月11日に発動された国際収支擁護のための一般セーフガードに関し、同日以降、陸路若しくは空路で個人が当国に持ち込む物品に対し、税関が定める旅行者免税荷物の範囲を超えると判断される物品は、一般セーフガード措置による追加関税の対象となる。特に隣接するコロンビアとペルーの通貨に対するドル高が進み、国境を越えて同国へ買い物に行く個人及び当国内での転売を目的とした密輸が増加し問題となっていた。

4. 欧州議会国際貿易委員会がエクアドル・EU通商協定を了承

26日、貿易省は、欧州議会国際貿易委員会がエクアドル・EU通商協定につき、22日付で多数決了承した旨のプレスリリースを発出。今後、欧州議会本会議に諮られる予定。

5. 官民連携のためのインセンティブ法案の国会審議開始

28日、官民連携を促進するため民間企業に与えられるインセンティブに関する法案が国会に提出された。同法案は、道路、港湾、空港等のインフラ整備プロジェクト実施に関して民間によりインセンティブを与え、民間投資を促進するものである。